

1999年11月4日

報道関係各位

第5回『ノバルティス メノポーズ・アワード』公募のお知らせ

ノバルティス ファーマ株式会社(本社:東京都港区、社長:通筋 雅弘)は、1999年11月から、更年期の女性に関する医学、看護学、保健学などの発展・進歩に寄与した優れた業績を顕彰する『ノバルティス メノポーズ・アワード』の第5回の公募を行います。

本賞は、医学部門、看護学・保健学部門の2部門から構成され、医学部門2件、看護学・保健学部門1件の受賞者が選出されます。選考は、ノバルティス ファーマ(株)が委嘱した医学・看護学・保健学などの領域の学識経験者に弊社の代表者1名を加えた選考委員会(選考委員長:東京医科歯科大学産婦人科 麻生 武志教授)で行われます。

第5回の公募は本年11月から行い、締切は2000年3月末日、贈呈式は2000年7月に東京で行う予定です。応募方法は別紙の通りです。受賞者には表彰状と記念盾、副賞として100万円が贈呈されます。

ノバルティス ファーマは世界約70ヶ国でエストロゲンの貼付剤「エストラダーム®TTS®」を発売し、更年期の女性のホルモン補充療法(HRT)に貢献すると同時に、女性のQOLの向上に対し、さまざまな啓発活動を行っています。日本におきましても、1995年9月に「エストラダーム®TTS®」を上市し、産婦人科医をはじめとした多方面から、HRTに新たな選択肢が加わったと高く評価されています。ノバルティス ファーマは、今後も、世界各国での経験や集積された知見をもとに、この製品の適正使用を推進していきます。

本賞が、これからも更年期の女性に関する医学、看護学、保健学の発展・進歩に寄与し、女性のQOLの向上に少しでも貢献できることを期待しています。

お問い合わせ先: ノバルティス ファーマ(株) 広報グループ 喜多 英人 TEL: 03-3797-8027 / FAX: 03-3797-4367

< 応募方法 >

応募用紙は下記事務局宛お申し込み下さい。
規定及び応募用紙をお送り致します。

- **ノバルティス メノポーズ・アワード事務局**

ノバルティス ファーマ株式会社

住所：〒106 - 8618 東京都港区西麻布4-17-30

TEL： 03-3797-8629 FAX： 03-3797-4496

< 第1回受賞者 >

1996年7月6日 第4回HRT研究会で贈呈式を開催（大阪:ホテルラザ）

- | | |
|---------|--|
| 基礎研究部門 | 受賞者： 森田 育男先生（東京医科歯科大学歯学系大学院）
テーマ： 更年期における骨塩含量減少機序の解明 |
| 臨床部門 | 受賞者： 細井 孝之先生（東京大学医学部老年病学教室）
テーマ： 閉経後の骨代謝における多様性とエストロゲン受容体遺伝子多型性との関連 |
| 看護・保健部門 | 受賞者： アルベリー・信子さん（日本アマラント協会）
テーマ： 中・高年期の女性が、自分のからだについての正しい知識を得ることにより、閉経期を心身共に健やかに乗り越え、閉経後の人生のQOLを実現するための啓発活動の展開 |

< 第2回受賞者 >

1997年7月5日 第5回HRT研究会で贈呈式を開催（東京:ホテルグランド）

- | | |
|-----------|--|
| 基礎研究・臨床部門 | 受賞者： 尾林 聡先生（東京医科歯科大学医学部産婦人科）
テーマ： ヒト血管における女性ホルモン制御および動脈硬化発症に関する研究 |
| | 受賞者： 宮浦 千里先生（昭和大学歯学部生化学）
テーマ： エストロゲンの骨髄造血調節作用に着目した閉経後骨粗鬆症の発症機構の解明 |
| 看護・保健部門 | 受賞者： 吉沢 豊予子先生（長野県看護大学）
テーマ： 中高年女性のヘルスプロモーションの特徴に関する研究 |

< 第3回受賞者 >

1998年7月18日 第6回HRT研究会で贈呈式を開催（東京:ホテルグランド）

- | | |
|---------|--|
| 医学部門 | 受賞者： 水沼 英樹先生（群馬大学医学部産科婦人科）
テーマ： 閉経後骨量減少の自然史に関する研究とその対策 |
| | 受賞者： 緒方 りか先生（九州大学医学部婦人科学産科学教室）
テーマ： 卵巣性ステロイドの二つの作用機序からみた血管機能制御の研究 |
| 看護・保健部門 | 受賞者： 横山 徹爾先生（東京医科歯科大学難治疾患研究所社会学研究部門）
テーマ： 更年期における循環器疾患のリスク・ファクター |

< 第4回受賞者 >

1999年7月18日 東京・京王プラザホテルにて開催

- | | |
|---------|--|
| 医学部門 | 受賞者： 若槻 明彦先生(高知医科大学医学部附属病院産科婦人科学教室) |
| | テーマ： 閉経後女性における虚血性心疾患の発症とその予防に関する研究 - 特にトリグリセリド濃度とLDL粒子サイズとの関連性を中心として - |
| | 受賞者： 五来 逸雄先生(横浜市立大学医学部産婦人科学教室) |
| | テーマ： 閉経(エストロゲン欠乏)による骨代謝の変化と骨代謝マーカーの臨床応用に関する研究 |
| 看護・保健部門 | 受賞者： 三羽 良枝先生(メノポーズを考える会) |
| | テーマ： 患者の立場からのより良い更年期医療をめざして - 現状の分析と啓発活動を中心として - |

なお、第2回は、基礎研究・臨床部門を併せて表彰。第3回からは、部門を医学部門に改組。

<参考資料>

- メノポーズ： 閉経の意味。
卵巣の機能が衰えて止まること。すなわち月経の完全な終結を意味する。大多数の女性が48～52歳の間に経験する。
- HRT： Hormone Replacement Therapy の略。
ホルモン補充療法の意味。閉経や手術で卵巣の機能を失い欠乏したエストロゲン（卵胞ホルモン）や、プロゲステロン（黄体ホルモン）とともに外部から補って更年期の症状を改善する療法。
- エストラダール-TTS： 更年期障害の経皮吸収型治療薬。
生体内で最も生理活性の強い天然型17 β -エストラジオールを含有する貼付剤で、皮膚から吸収されるため、肝臓での初回通過効果を受けず、必要最少量の投与で血中濃度を維持する。
1985年スイスで初めて発売され、現在70ヶ国以上で販売。
日本では1995年9月に発売。
- TTS： Transdermal Therapeutic System の略
日本語では経皮吸収治療システムと訳される。
皮膚を介して、長時間にわたりコントロールされた速度で薬物を体内に送り込み、薬物の理想的な投与法を可能にしたシステム。
適用部位が皮膚表面であることから、必要に応じて（副作用発現時など）薬物の投与を直ちに中断できるメリットがあり、また肝臓や消化器系への影響を少なくすることが可能である。
エストラダール-TTSは、「支持体」「薬物貯蔵層」「放出制御膜」「粘着剤」「ライナー」の5層構造を有する。
エストラダール-TTSの他に狭心症治療薬『ニトロダール-TTS』、禁煙補助薬『ニコチネル-TTS』などがある（いずれもノバルティスファーマが発売）。